

# 女性消防団員の 更なる活躍に向けて



静岡県御殿場市消防団  
女性部長 木村 理絵

## 1 はじめに

御殿場市消防団女性部は2011年に発足し、現在15人の団員が在籍しており、防火指導、救命講習の実施、広報活動、防災訓練等の場面で活動しています。

そうした中、2019年10月に発生した台風19号によって、御殿場市に隣接する小山町内の老人ホームが土砂の流入により大きな被害を受けましたが、その際の復旧支援に有志として携わりました。そこで、消防団女性部として支援できることがないか、支援に入っていた社会福祉協議会の担当者に働きかけたことで、災害ボランティア本部内における活動が実現しました。

これを契機に、各災害支援団体と積極的に連携していくことで、女性ならではの観点が必要とされる場面に気づいたことから、女性消防団の活動が発展しておりますので、主な活動を紹介します。

## 2 新たな活動の紹介

### ①御殿場市社会福祉協議会との連携（災害ボランティア本部立ち上げ訓練への参加）

災害時における有志での活動内容は、受付・保険加入手続き、ボランティアの送迎、物品の準備・整備、現場での活動などでした。この経験を踏まえ、御殿場市で災害ボランティアセンターが立ち上げられた際の連携について話し合い、調整を進めたことで、発災時は女性部として本部の組織編制に加わり、連携していくこととなりました。2022（令和3）年度の立ち上げ訓練より、社会福祉協議会との連携構築を目的とし、毎年訓練



市社会福祉協議会との連携訓練

に参加しています。

### ②陸上自衛隊板妻駐屯地との連携

当市の地域特性の1つに、陸上自衛隊の駐屯地が存在することが挙げられます。その特性を活かし、駐屯地での研修や情報交換を通じて顔の見える関係を構築し、自衛隊の活動支援に加わることが可能になりました。連携実績として、地域防災訓練での炊き出し支援や、富士登山駅伝での救護支援などがあります。



板妻駐屯地との連携訓練

### ③男女共同参画宣言事業所

御殿場市消防団は、男女共同参画宣言事業

所となっています。宣言の中では、女性消防団員の視点から、地域住民の安全・安心の確保に努めることを取り組みとして掲げており、女性団員が御殿場市男女共同参画会議の委員として会議に参加しています。

④御殿場市危機管理課との連携（地域防災訓練モデル区訓練への参加）

市と対象地区が連携して行う、御殿場市地域防災訓練モデル区訓練に参加しています。活動内容は、要配慮避難者への対応、静岡DWAT（災害派遣福祉チーム）の情報展示、救護スペースの展開、三角巾を使用した応急手当の指導などを支援しています。その他、陸上自衛隊の炊き出し展示を支援するなど、避難所のニーズに応え、幅広く訓練経験を積んでいます。今後は市危機管理課との連携を強化し、防災出前講座、ジュニア防災士の講座などに協力していきます。

3 防災啓発活動

①幼稚園や保育園での花火教室

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部と連携し、正しい花火の遊び方などを園児にも分かるよう、実際に花火を使用して啓発を行っています。



市内幼稚園での花火教室

②小学校での防災教室

市内の小学校4年生の防災授業1枠を担当し、地域を守る消防団とは何かを紹介、また実習形式で三角巾の使い方を指導しました。



市内小学校での防火教室

③コミュニティFMへの出演

多数の方への啓発を目的とし、地元コミュニティFM局である、富士山GOGOエフエムへ団員が不定期で出演しています。火災予防週間に合わせた啓発文章の読み上げを定期的実施し、更に同局と防災パートナー契約を結び、地域の方に防災・減災の意識を高めてもらうため、日々の放送の中で呼びかけています。

4 最後に

災害時の女性消防団員の活動イメージが具体的になったことから、団員が自ら災害ボランティアコーディネーターの資格を取得するなど、やりがいを持って積極的に取り組んでいます。

いざという時の連携の在り方を見つめなおすことで、女性消防団の活動が展開するきっかけを見つけ、平常の活動、有事の備えを、より発展させることができると感じています。今後は、顔の見える関係作りに力を入れるなど、関係機関とのつながりを更に深めながら、消防団活動に取り組んでいきたいと考えています。